



こいのぼりのお話

鯉は古くから立身出世の象徴とされてきました。中国の故事、伝説から「黄河の上流にある龍門の急流をさかのぼることができた鯉は、龍になって天をかける」と言われ、出世のたとえに用いられるようになりました。日本において鯉が縁起物にされたのは、江戸時代中期とされています。五色の吹き流しは幼子の無事な成長を願って「魔除け」の意味で飾られるようになりました。

参照
～こいのぼりと五色の吹き流しの話～

ぼんだ組こいのぼり



ぼんだ組さんがビニールテープあそびをして作ったこいのぼり。風に揺られて元気に泳いでいます！！



登降園のタッチパネルが動かなくなることが多くなってきました。なるべく、ICTカードをかざしていただくようお願いいたします。また子どもさんにさせる方がおられますが、保護者の方がかざすようによろしくお願ひします。

家庭の役割

こいのぼりが園庭を気持ちよさそうに泳いでいます。しだれ桜も今年はたくさん花をつけ、とってもきれいに咲いていて、気持ちの良い季節になりました。しかし、新型コロナウイルス拡大予防の為、今年はお出かけすることもなく、子どもたちの半数近くが登園自粛の状態です。マスクや手洗いのご協力ありがとうございます。

今は、外出を控え、コロナウイルスにかからないよう一人ひとりが気を付けるしかありません。早く収束してくれることを祈るばかりです。みんなでこの大変な時期を乗り越えましょう。

熊野町では、保育園・幼稚園で育んできた「学びに向かう力等」が、小学校へも繋がって行くよう連携を取っています。先日、第三小学校の校長先生と一年生の担任の先生がお越しになりました。「一年生の子どもたち、小学校で頑張っていますよ。」と、休校になる前の一週間でしたが、小学校での様子を教えて下さいました。その後、年長のクラスを少し見学されましたが、年長さんが様々な素材を使って、お家づくりや基地づくりを楽しんでいる様子を見て、「こんな風に日頃から制作して遊んでいるから、みらいの子どもたちは作ることが好きなんですね。」と話されていました。私たちも一年生のことがとても気になっていましたが、「椅子に座ってお話しか聞いていますよ。〇〇くんは手を上げて発表をよくしてくれますよ。」という話を聞き、とても安心しました。

また、「子どもたちの大好きな歌はなんですか？、どんなあそびが好きでしたか？、どんな絵本が好きですか？」など聞かれ、保育園のことを理解しようとしていることが、とても嬉しく心強く感じました。

今、年長クラスになった子どもたちはとても意欲的です。園庭あそびの後、お片づけを率先してやってくれたり、小さい子が遊び続けていると、「もうお片づけをして、お部屋に帰る時間だよ。」と手をつないで靴箱まで連れて行ってくれます。「ありがとうね。助かるわ。」と褒めると、満足そうにしています。こういったことを繰り返すことで、自分に自信を持ち、自分が好きになり、「私はこれでいいんだ」という、自己肯定感が育まれるのだと思います。これは年長さんになったから意欲的になったのではなく、年少、年中さんの頃から優しく接してきて、何でもできる年長さんへのあこがれがあったのです。誰かにあこがれる、誰かに期待感が持てる子どもに

育てるためには、いつもお伝えしていますが、小さい時にしっかり可愛がられ、欲求を満たしてあげることが大切です。抱っこして欲しい時にはゆったりした気持ちでしっかり抱っこしてあげましょう。朝から「忙しいからはやくして」と叱られているお子さんをたまに見かけますが、こんなときの子どもは何で怒られているかわからず、ぐずぐず言ったまま一日をスタートすることになります。「お母さんとタッチしたかった！」とずっと泣いている子も見受けます。子どもたちは、いろんな場面で保護者の愛情を確認しているんです。それに応えてあげると安心して一日を過ごすことができます。私たち保育士も、子どもたちが「絵本読んで」、「おはなしきいて」と欲求があればできるだけ応えています。しかし、お母さん、お父さんの愛情に勝るものはありません。毎日、お仕事や家事、また子育てで忙しくされていることと思いますが、子どもさんが一番安心できる場所は、やっぱり保護者の皆さんの隣です。お子さんが何かを要求した時は、できるだけその欲求に応えてあげましょう。

反抗期は自分の思いを何とか聞いてもらおうとするのですが、時に保護者がイライラすることもあります。この時期は自分の思いを主張するだけでなく、相手の気持ちを考える大切な時期でもあります。子どものいやだいやだに寄り添い、「嫌だったんだね。でもね、お母さんはこう思うな。」と親の思いも伝えてあげてください。少しずつ、どこまで要求してよいか、我慢しなければならぬことや、良いこと悪いことがあることなどを自分で判断できるようになります。

連休明けになっても新型コロナウイルス拡大予防の為の自粛要請が続くかもしれませんが、お家で過ごすことで万が一ストレスがたまり、イライラするようでしたら園にご相談ください。その間、園では「きっすノート」を使って、絵本の読み聞かせやふれあいあそびの動画配信などを始めることにしています。

登園自粛が緩和され登園が可能になっても、慣らし保育も出来ないまま、お休みに入られたお子さんもおられますので、今年5月になっても、もう一度新学期当初のような気持ちでお預かりします。泣かれても焦らず、お子さんの気持ちに寄り添っていきます。お友だちと一緒に様々なあそびを体験していくことで少しずつ豊かな心を育てていきたいと思っています。

くまの・みらい保育園 園長



黄組編 ～道路作り～

細長い紙を繋げるあそびから始まった道路作り。お部屋から廊下までつながり、子どもたちは朝から夢中で遊んでいました。2階の廊下から、外の景色や道路を見て「あっ！！道路には真ん中に線があるよ！」と発見した子どもたち。長い紙をつなげた道路のまん中に、パスで線をかきはじめました。お花作らなくっちゃね！人もいるよね。空き箱にお花を作って貼ったり、人間を貼ったり、信号を作ったり、。夕方担任が掃除をしようと思って、子どもたちの作品を見ていると、、、窓際の椅子の上にコンロが貼ってあり、フライパンとフライ返しがおいてありました。細かく切って貼り合わせて作られている作品にびっくりしたようでした。「ここはお家なのかな？」子どもたちが考えてどんどん作りはじめた道路作り、今後どうなっていくのかとても楽しみです。

子どもたちの発想はすごいです！

